



成果指標				
成果指標	表彰規定に基づいて、消防業務に精通し功労功績のあった消防団員等を消防出初式で表彰し、防災士気の高揚を図る。			
指標設定の考え方	消防団員としての職務意欲の向上と、地域での防災リーダーとしての育成を図る。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	6549	7000	0	0
実績	5433	6665	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行されたことを踏まえ、自主防災会や地区住民の積極的な参加の下、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に努めること、また、消防団員の高齢化に対応するため、消防団活動の積極的な広報活動を行い、消防団員確保に勤めることと認識している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地域防災力の充実強化を図るためには、消防団員の確保は必要不可欠である。地域の訓練に積極的に参加するなど、住民に消防団活動の周知・啓発を行い団員確保に向けた取り組みを継続する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題